

中小企業振興会議提言・報告に基づく
R1中小企業振興施策実施状況報告

令和2年7月
都市魅力産業スポーツ部

東大阪市第2次総合計画後期基本計画

部門別計画 第4部 活力ある産業社会を切り拓くまちづくり

第21節 モノづくりが元気なまち

- 4-21-1 モノづくり企業の高付加価値化を支援します
- 4-21-2 「モノづくりのまち東大阪」を次の世代に引き継ぎます
- 4-21-3 モノづくり企業の販路開拓を応援します
- 4-21-4 地域経済の連携、交流に取り組みます

第22節 買い物しやすいまち

- 4-22-1 特色ある商業集積地域づくりを支援します
- 4-22-2 「元気な店舗グループ」の活動を支援します
- 4-22-3 地域資源の活用で集客力を強化します
- 4-22-4 安心して快適に買い物ができる環境づくりを進めます

第23節 農業と農地空間を大切にすまち

- 4-23-1 安全で新鮮な農産物を消費者に届けます
- 4-23-2 東大阪市の特産物を地域ブランドとして発信します
- 4-23-3 農業と農地空間の担い手を育てます
- 4-23-4 農地空間の持つ価値や機能を生かします
- 4-23-5 有害鳥獣被害への対策を進めます

第24節 産業活動にとって魅力のあるまち

- 4-24-1 居住環境と工場の操業環境の共生を進めます
- 4-24-2 金融面から産業活動を支援します
- 4-24-3 経済施策情報を分かりやすく発信します
- 4-24-4 クリエイション・コア東大阪を有効に活用します

第25節 雇用が安定し、働きやすいまち

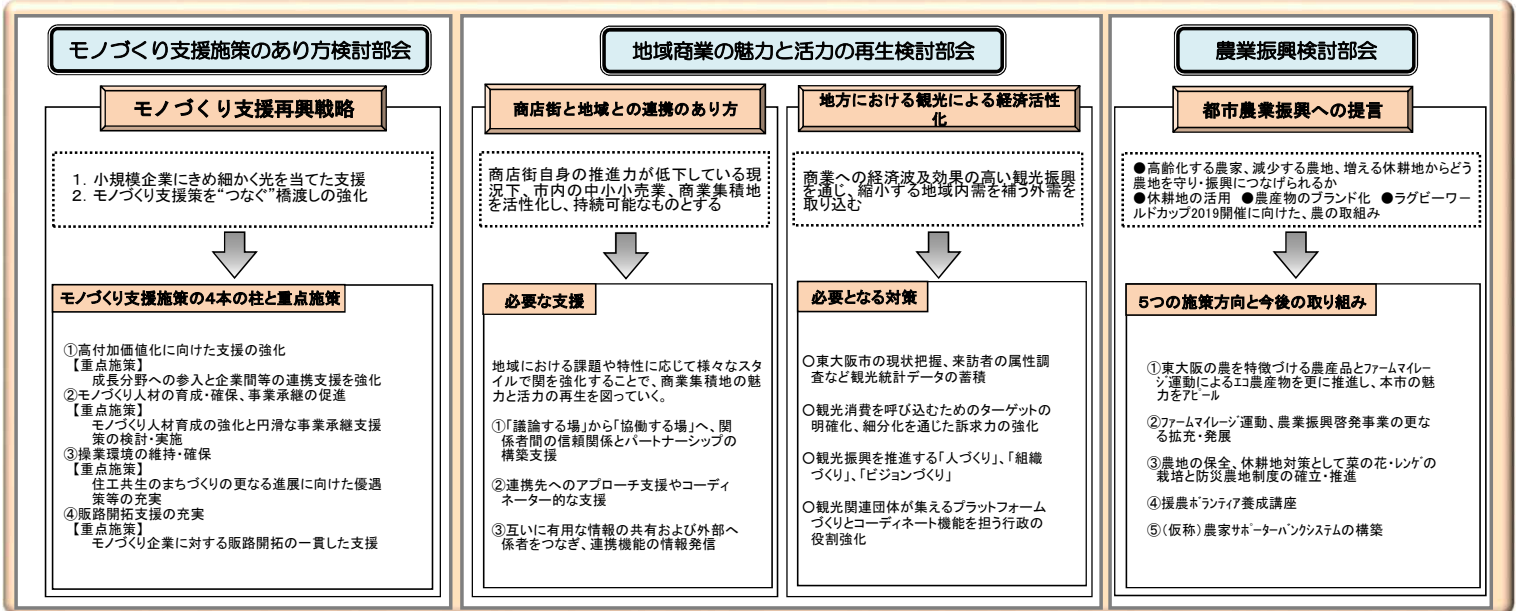
- 4-25-1 働きがいのある労働環境づくりを支援します
- 4-25-2 安心して働ける労働環境づくりを支援します
- 4-25-3 若者の就業を応援します
- 4-25-4 就職に困っている人の雇用を促します
- 4-25-5 高齢者の生きがい就労を応援します

第2部 市民文化を育むまちづくり

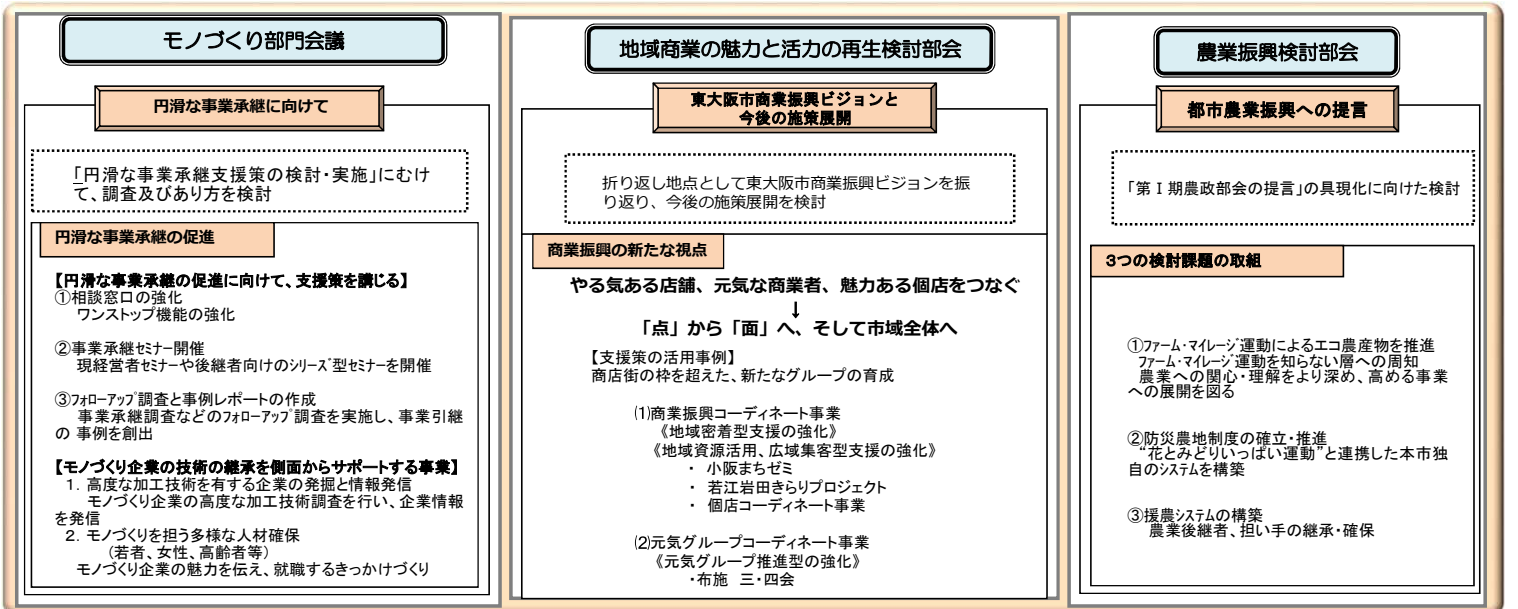
第8節 多くの国・地域や人の交流が育まれるまち

- 2-8-5 東大阪市の魅力をつくり、発掘し、発信します

平成27年度東大阪市中小企業振興会議～東大阪市の中小企業振興に関する提言（概要）



平成28年度東大阪市中小企業振興会議～東大阪市の中小企業振興に関する報告（概要）



平成30年度東大阪市中企業振興会議 ～東大阪市の中小企業振興に関する報告～（概要）

モノづくり振興部門会議

3つのテーマについて検討

今日の課題として3つのテーマを掲げ、速やかな施策展開につなげるべく、あり方を検討

議論のテーマ

- ①平成30年度新規拡充事業の効果的・効率的な実施に向けて
→メリハリつけた支援策の検討
- ②モノづくり試作工房の活用を踏まえた産業技術支援センターの今後のあり方
→従来型から多様な主体が交流できる場に
- ③支援施策の再構築
→住工共生のまちづくり事業の支援施策の見直しについての報告

商業振興検討部会

東大阪市商業振興ビジョンと今後の施策展開

折り返し地点として東大阪市商業振興ビジョンを振り返り、今後の施策展開を検討

議論のテーマ

- ①東大阪市商業振興ビジョンを踏まえた振り返りについて
・商業振興コーディネート事業の実例より
「若江岩田きらりプロジェクト事業の現状と課題」
・商業振興コーディネート事業、元気グループコーディネート事業等から見る新たな商業振興の可能性
- ②次期商業計画策定スケジュール(案)について
・新総合計画と時期を合わせ、2021年度よりスタート
・商業を取り巻く環境を考慮し、5年等短い期間での作成
・現在のビジョンを基本とし、プラン的なものを作成

労働雇用部門会議

市内企業の人材確保と若者・女性の就労支援

就労支援と人材確保の観点から現在の課題や今後の施策展開を検討

検討課題

若者・女性をターゲットにした就活応援窓口事業(就活ファクトリー東大阪)の事業検証



- ・市内企業への就職者数100人を達成するために
- ・学生を含む若者と復職・再就職を目指す女性の登録者の増加
- ・利用者満足度の向上
- ・(就職状況の)実態把握の強化

振興会議の提案にもとづく具体的な施策の構築・推進

「モノづくりが元気なまち」「雇用が安定し働きやすいまち」「買い物しやすい街」「農業と農地空間を大切にすまち」

(中小企業振興条例)

地域経済を活性化し豊かで住みよいまちの実現

(総合計画後期基本計画)

活力ある産業社会を切り拓くまちづくりの実現

(東大阪市第2次総合計画 将来都市像)

「夢と活力あふれる 元気都市・東大阪」

【様式の見方】

所属	所属名を記載
----	--------

No.	通しNo.
-----	-------

事業名	事業名を記載	令和元年度 目標達成度
事業概要	事業全体の大まかな内容について記載	目標①、②の達成度に対して、目標が1つの場合は、A:8~7点、B:6~5点、C:4~3点、D:2点として目標達成度を記載。目標が2つの場合はA:4点、B:3点、C:2点、D:1点として、8~7点=A、6~5点=B、4~3点=C、2点=Dとして目標達成度を記載

H30 決算	H29決算額を記載	R1 決算	H30決算額を記載
-----------	-----------	----------	-----------

提言・報告 施策	東大阪市中小企業振興会議より提案・報告された施策(4頁)に対応する施策番号を記載
-------------	--

第2次総合計画後期基本計画 部門別計画		
部	節	取り組みのあらまし
第5次実施計画体系に該当する箇所の部・節・取り組みのあらまし番号を記載		

指標①	事業を客観的に評価するための基準を記載				指標②	同左			
指標の 説明・計算式	指標の説明・計算式等を記載				指標の 説明・計算式	同左			
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	各年度の目標を記載				目標②	同左			
実績①	各年度の実績を記載				実績②				
事業実績 (令和元年度)	令和元年度の取り組み内容を記載								
課題・問題点	令和元年度に取り組んだ改善策のうち、主に実施できなかった内容や、事業実績に記載した内容を実施する中での課題・問題点を記載								
令和2年度に向けた改善策	上記の課題や問題点を具体的にどのように改善していくのかを記載								

東大阪市中小企業振興会議からの提言・報告を踏まえて令和元年度に実施された施策一覧

平成27年 東大阪市の中小企業の振興に関する提言 (評価A・Bの割合 77.8%)			
モノづくり支援施策あり方検討部会 (同割合 64.7%)			
【モノづくり支援再興戦略】			
I. モノづくり支援施策の4本の柱と重点施策			
① 高付加価値化に向けた支援の強化	達成度	掲載頁	
医工連携プロジェクト創出事業	A	7	
東大阪デザインプロジェクト事業	D	7	
高付加価値化支援事業	C	8	
産業財産権活用支援事業	D	8	
② モノづくり人材の育成・確保、事業承継の促進			
次世代モノづくり啓発事業	B	9	
ビジネスセミナー開催経費	A	9	
モノづくり開発研究会支援事業	A	10	
モノづくり若年者等就業支援事業	C	10	
市内企業と学生、女性の就職マッチング事業	A	11	
③ 創業環境の維持・確保			
モノづくり立地促進補助事業	A	11	
住工共生のまちづくり事業	B	12	
④ 販路開拓支援の充実			
東大阪デザインプロジェクト事業	D	7	
クリエイション・コア常設展示場出展支援事業	B	12	
国内外販路拡大事業	B	13	
東大阪市技術交流プラザ事業	A	13	
東大阪ブランド推進事業	D	14	
モノづくりワンストップ推進事業	B	14	
地域商業の魅力と活力の再生検討部会 (同割合 100%)			
II. 商店街と地域との連携の在り方			
① 「議論する場」から「協働する場」へ、事業者間の信頼関係とパートナーシップの構築関係	達成度	掲載頁	
商業振興コーディネート事業	A	15	
地域密着型支援事業	A	15	
② 事業者間連携についてのアプローチ支援やコーディネーター的な支援			
商業振興コーディネート事業	A	15	
農業振興検討部会 (同割合 100%)			
III. 都市農業振興への提言			
5つの施策方向と今後の取り組み			
① 東大阪の農を特徴づける農産品とファームマイルージ運動によるエコ農産物を更に推進し、本市の魅力アピール	達成度	掲載頁	
都市農業活性化農地活用事業	A	17	
農業啓発推進事業	A	18	
② ファームマイルージ運動、農業振興啓発事業の更なる拡充・発展			
農業啓発推進事業	A	18	
③ 農地の保全、休耕地対策として菜の花・レンゲの栽培と防災農地制度の確立・推進			
都市農業活性化農地活用事業	A	17	
ファーム花いっぱい咲かそう事業	A	17	
④ 援農ボランティア養成講座			
農業啓発推進事業	A	18	
⑤ (仮称)農家サポーターバンクシステムの構築			
農業啓発推進事業	A	18	

平成28年 東大阪市中小企業振興会議最終報告 (評価A・Bの割合 92.3%)			
モノづくり部門会議 (同割合 100%)			
IV. 円滑な事業承継に向けて			
① 相談窓口の強化:ワンストップ機能の強化	達成度	掲載頁	
モノづくりワンストップ推進事業	B	14	
② 事業承継セミナー開催:現経営者セミナーや後継者向けのシリーズ型セミナーを開催			
ビジネスセミナー開催経費	A	9	
地域商業の魅力と活力の再生検討部会 (同割合 83.3%)			
V. 東大阪市商業振興ビジョンと今後の施策展開			
やる気ある店舗、元気な商業者、魅力ある個店をつなぐ「点」から「面」へ、そして市域全体へ			
① 商店街の枠にとらわれない新たなグループへの支援	達成度	掲載頁	
商業振興コーディネート事業	A	15	
② 新たな組織を担える人づくりへの支援			
商業振興コーディネート事業	A	15	
個店経営者育成セミナー事業	A	16	
③ 個店への支援から地域商業全体へ波及する振興策の提供			
空き店舗活用促進事業	D	16	
商業振興コーディネート事業	A	15	
個店経営者育成セミナー事業	A	16	
農業振興検討部会 (同割合 100%)			
VI. 都市農業振興への提言			
3つの検討課題の取組			
① ファーム・マイルージ運動によるエコ農産物を推進	達成度	掲載頁	
都市農業活性化農地活用事業	A	17	
農業啓発推進事業	A	18	
② 防災農地制度の確立・推進			
ファーム花いっぱい咲かそう事業	A	17	
農業啓発推進事業	A	18	
③ 援農システムの構築			
農業啓発推進事業	A	18	

東大阪市中小企業振興会議からの提言・報告を踏まえて令和元年度に実施された施策一覧

平成30年 東大阪市中小企業振興会議最終報告		(評価A・Bの割合 76.5%)	
モノづくり振興部門会議		(同割合 71.4%)	
VII. 3つのテーマの施策展開とあり方			
① 新規拡充事業の効果的・効率的な実施	達成度	掲載頁	
医工連携プロジェクト創出事業	A	7	
東大阪デザインプロジェクト事業	D	7	
高付加価値化支援事業	C	8	
産業財産権活用支援事業	D	8	
国内外販路拡大事業	B	13	
技術交流プラザ事業	A	13	
② 産業技術支援センターの今後のあり方			
次世代モノづくり啓発事業	B	9	
ビジネスセミナー開催経費	A	9	
モノづくり開発研究会支援事業	A	10	
③ 支援施策の再構築			
モノづくり立地促進補助事業	A	11	
住工共生のまちづくり事業	B	12	
クリエイション・コア常設展示場出展支援事業	B	12	
東大阪ブランド推進事業	D	14	
モノづくりワンストップ推進事業	B	14	
商業振興検討部会		(同割合 100%)	
VIII. 東大阪市商業振興ビジョンと今後の施策展開			
① 東大阪市商業振興ビジョンを踏まえた振り返り	達成度	掲載頁	
商業振興コーディネート事業	A	15	
地域密着型支援事業	A	15	
労働雇用部門会議		(同割合 100%)	
IX. 市内企業の人材確保と若者・女性の就労支援			
① 若者・女性を対象にした就活応援窓口事業の検証	達成度	掲載頁	
市内企業と学生、女性の就職マッチング事業	A	11	

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室	No.	1
----	---------------------	-----	---

事業名	医工連携プロジェクト創出事業	令和元年度 目標達成度
事業概要	市内モノづくり企業等で構成される研究会で健康・医療分野への参入へ向けたセミナーなどを開催するとともに、付加価値の高い製品の製造や研究開発を促進するため、事業化をめざす案件に助成金を交付する。	A

H30 決算	9,891千円	R1 決算	7,250千円	提言・報告 施策	I①			
-----------	---------	----------	---------	-------------	----	--	--	--

第5次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

指標①	健康、医療、介護分野における開発ニーズ案件の情報提供数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	15件	15件	25件	A	目標②				
実績①	52件	29件	-		実績②				

事業実績 (令和元年度)	<p>本事業を進める中で把握した医療機器ビジネスを取り巻く環境や動向、また市内企業の状況と意向などを勘案し、「部品・部材の供給」「試作・設計・開発支援」「OEM/ODM生産」を重点領域に取り組みを進める。特に、市内企業にとっては、直接の取引先となる医療機器メーカーや販社との関係構築が必要不可欠であり、それら企業からまずは案件が持ち込まれるような仕組みづくりを進め、医療機器ビジネスにおける「モノづくりのまち東大阪」の存在感を示していく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 医療機器ビジネス参入のための人材育成プログラム(大阪産業技術研究所と共催) 参加企業:18社(うち市内企業7社) 医療機器企業をメインターゲットにした市内モノづくり企業ツアー(2回実施) ・見学受入れ企業 19社 ・ツアー参加企業 23社・機関(延べ) ・面談件数 86件(延べ) オンラインマッチング商談会 コロナウイルスの影響により『ドテックジャパン2020』が中止となったことを受け、急速「オンラインマッチング商談会」を開催。 参加者:概ね300名程度 商談件数:31件 資料請求:117件 東大阪市医工連携プロジェクト PR冊子の制作 発行部数:5000部 日本全国の医療機器企業、業界団体等へ配送。 医工連携創出プロジェクト補助金事業 4件採択
改善すべき点	引き続き市内企業にとって直接取引先となる医療機器企業、医療機関等との関係構築、強化を図っていく必要があるが、今まで情報発信の中心的な機会であった大規模展示会などが、コロナウイルスの影響により、軒並み開催されないという状況であり、新たな情報発信、ビジネスマッチングの機会提供などの手法が求められる。
令和2年度に向けた改善策	今まで、本事業を進めてきたつながりから、コロナ禍においては、コロナウイルスの感染防止に資する製品開発などが非常に活発化した。そうした、スピード感が求められる開発案件は、本市のモノづくり力が発揮される場面であり、これら市内企業の動きについては、本市の強みとしてしっかりと内外へ発信していく。また、それら情報発信、商談の機会の設定等については、市内企業と連携しながら、オンラインツールを駆使するなど、より効果的なプロモーションを検討実施していく。

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室	No.	2
----	---------------------	-----	---

事業名	東大阪デザインプロジェクト事業	令和元年度 目標達成度
事業概要	世界的工業デザイナーやクリエイター等との交流を促進することにより、デザインの重要性をPRするとともに、デザインという資源を活かした付加価値の高い製品づくりを促進する。	D

H30 決算	2,400千円	R1 決算	2,249千円	提言・報告 施策	I①	I④		
-----------	---------	----------	---------	-------------	----	----	--	--

第5次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	本プロジェクトを通じたデザイナーとのプロジェクト組成数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	3件	4件	4件	D	目標②				
実績①	0件	1製品	-		実績②				

事業実績 (令和元年度)	<ol style="list-style-type: none"> 東大阪デザインプロジェクト製品等の発表の場として国際見本市「LIVING & DESIGN2019」へ出展し、本事業の成果を発信した。(来場者数:6,271人) デザイナーを講師に迎えて勉強会や交流会などを開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、中止とした。
改善すべき点	勉強会への参加が伸び悩んでいる。過去に本プロジェクトを通じ誕生した製品の出展が続く、新規開発製品の出展が少ない。
令和2年度に向けた改善策	市内企業にデザインの重要性を啓発し、本プロジェクトへの参加を呼びかける。

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室	No.	3
----	---------------------	-----	---

事業名	高付加価値化支援事業	令和元年度 目標達成度
事業概要	市内中小製造業者が単独または2者以上の共同で行う、新たな産業技術の研究や新製品の開発に向けた活動等に対して補助金を交付し、付加価値の高い製品の製造を促進する。	C

H30 決算	4,022千円	R1 決算	3,499千円	提言・報告 施策	I①			
-----------	---------	----------	---------	-------------	----	--	--	--

第5次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	補助金活用件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	10件	10件	10件	C	目標②				
実績①	5件	5件	-		実績②				

事業実績 (令和元年度)	研究開発事業が4件、産学連携事業が1件の計5件を採択。
改善すべき点	応募件数が伸び悩んでいる。さらなる周知と公募回数増加などに加えて活用しやすい制度設計の検討が必要と思われる。
令和2年度に向けた改善策	実施主体である公益財団法人東大阪市産業創造勤労者支援機構のコーディネーターによる情報提供等、積極的な広報を行う。

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室	No.	4
----	---------------------	-----	---

事業名	産業財産権活用支援事業	令和元年度 目標達成度
事業概要	市内製造業者が知的財産の保護および権利化を促進させるため国内で特許権を取得する際の出願審査請求に経費の一部を助成するもの。	D

H30 決算	182千円	R1 決算	75千円	提言・報告 施策	I①			
-----------	-------	----------	------	-------------	----	--	--	--

第5次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	産業財産権活用事業補助金の活用				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	10件	10件	10件	D	目標②				
実績①	2件	1件	-		実績②				

事業実績 (令和元年度)	出願審査請求にかかる経費の一部を1件助成した。
改善すべき点	応募件数が伸び悩んでいる。さらなる周知と公募回数増加などに加えて活用しやすい制度設計の検討が必要と思われる。
令和2年度に向けた改善策	実施主体である公益財団法人東大阪市産業創造勤労者支援機構のコーディネーターによる情報提供等、積極的な広報を行う。

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室	No.	5
----	---------------------	-----	---

事業名	次世代モノづくり啓発事業	令和元年度 目標達成度
事業概要	小学校でのモノづくり体験教室の開催や少年少女発明クラブを支援することにより、次代を担う子どもたちのモノづくりに対する興味や関心を高め、将来の産業を担う人材を育成する。	B

H30 決算	教育支援事業 5,700千円 少年少女発明クラブ 568千円	R1 決算	教育支援事業 5,800千円 少年少女発明クラブ 568千円
-----------	-----------------------------------	----------	-----------------------------------

提言・報告 施策	I②			
-------------	----	--	--	--

第5次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	モノづくり体験教室参加児童数				指標②	発明クラブ活動への参加率			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	5,100人	5,100人	4,000人	C	目標②	80%	80%	80%	B
実績①	5,121人	4,076人	-		実績②	66%	66%	-	

事業実績 (令和元年度)	【教育支援事業】 体験教室のメニューは市内企業16社の協力により、全16メニュー。 177クラス5、539人の応募があり、128クラス4、076人に実施した。 【少年少女発明クラブ】 のべ754人が参加し、26回開催した。 3月に開催を予定していた企業見学会、修了式は新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み中止とした。
改善すべき点	【教育支援事業】 応募数に対して、十分な実施体制が整っていない。 【少年少女発明クラブ】 年度後半になると参加率が低下してしまう。年度を通して高い参加率を維持して参りたい。
令和2年度に向けた改善策	【教育支援事業】 より多くの児童が参加できるよう、実施方法を検討する。 【少年少女発明クラブ】 年度途中での退会者が出ないよう、1年間を通して興味を持ってもらえるようなメニュー作りなどに配慮する。

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室	No.	6
----	---------------------	-----	---

事業名	ビジネスセミナー開催経費	令和元年度 目標達成度
事業概要	市内中小企業者の人材育成を積極的に推進し、新分野進出や業務改善、後継者育成等をはかるため、(公財)東大阪市産業創造労働者支援機構がビジネスセミナー(営業・経営・法律・IT等のテーマ)を開催することを補助する。	A

H30 決算	1,158千円	R1 決算	1,266千円
-----------	---------	----------	---------

提言・報告 施策	I②	IV②		
-------------	----	-----	--	--

第5次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	ビジネスセミナー参加数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	550社	600社	650社	A	目標②				
実績①	936社	771社	-		実績②				

事業実績 (令和元年度)	34回(他機関との共催事業11回を含む)のセミナーを開催し、累計で771名の参加があった。
改善すべき点	セミナーの内容によっては、セミナー終了後に実施しているアンケートの満足度にばらつきがあり、更なる満足度の向上が求められる。
令和2年度に向けた改善策	広報での協力や共催でのセミナー実施等、他の支援機関との連携を図り、(公財)東大阪産業創造労働者支援機構のコーディネーター等に協力を仰ぎ、本事業の広報、周知及び市内企業のニーズ把握に努める。

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室	No.	7
----	---------------------	-----	---

事業名	モノづくり開発研究会支援事業	令和元年度 目標達成度
事業概要	市内企業の技術力高度化や研究開発促進を目的としてテーマが設定された2分科会「中堅人材育成・金属コース」「中堅人材育成・高分子コース」により研究会を実施している。それぞれのテーマに基づき機器利用による講習会及び外部講師を招いた座学講習会などを市立産業技術支援センターにおいて実施する。	A

H30 決算	350千円	R1 決算	350千円	提言・報告 施策	I②			
-----------	-------	----------	-------	-------------	----	--	--	--

第5次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	参加者の満足度(大変満足・満足の割合)				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	100%	100%	100%	A	目標②				
実績①	93%	100%	-		実績②				

事業実績 (令和元年度)	3コース(「金属初級コース」「金属中堅人材育成コース」「加工技術中堅人材育成コース」)にて講義および実験・実習をそれぞれ7回実施。 その他、特別講演・オープン講座を3回開催し、見学会も実施した。
-----------------	--

改善すべき点	アンケートでは実際に機械に触れる時間の増加を望む声が見られた。 例年は年度末の修了式後に無記名でアンケートを実施しているが、令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響で修了式を中止とし、郵送でアンケートを実施したが回答数が少なかった。
--------	--

令和2年度に向けた改善策	アンケートの結果を意識した研修内容を検討する。
--------------	-------------------------

所属	都市魅力産業スポーツ部 労働雇用政策室	No.	8
----	------------------------	-----	---

事業名	モノづくり若年者等就業支援事業	令和元年度 目標達成度
事業概要	若年者等に対し、モノづくり企業を中心とした就業の機会を提供する。合同企業説明会・面接会および就職セミナーの開催、就職情報誌の市内全戸配布、技能実習と企業での実習を組み合わせた「モノづくり人材育成」の開催等の事業を実施する。	C

H30 決算	10,000千円	R1 決算	10,000千円	提言・報告 施策	I②			
-----------	----------	----------	----------	-------------	----	--	--	--

第5次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	モノづくり人材育成塾により就職した人数				指標②	その他の就業支援により就職した人数			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	15人	15人	15人	D	目標②	40人	45人	45人	C
実績①	7人	5人	-		実績②	23人	23人	-	

事業実績 (令和元年度)	<ul style="list-style-type: none"> モノづくり人材育成塾 技術コース…技専校での基礎的な技術の習得と企業での実習を併せて実施し、モノづくり企業への就職につなげた。 (期間)令和元年10月9日～11月5日 (場所)大阪府立東大阪高等職業技術訓練校、実習受入協力企業 (参加者数) 8人 (就職者数) 5人 就活応援フェスティバル…求人企業・事業所合同説明会を開催した。 (日時)令和元年9月13日 13:00～16:00 (場所)布施駅前市民プラザ「夢広場」 (参加企業数) 26社 (参加者数) 96人 (就職者数) 11人 「東大阪スタイル」の発行…モノづくり企業で働く若者や働く人の基礎知識、各所相談窓口等を紹介する冊子を発行し、市内全戸配布するとともに、主要高校、大学、公共施設等に配布した。 (発行日)令和元年8月15日 (発行部数) 202,000部 東大阪モノづくり企業合同就職面接会…モノづくり企業に限定した面接会を開催した。 (日時)令和元年2月7日 13:00～16:00 (場所)東大阪商工会議所 本所本館4階大会議室 (参加企業数) 41社 (参加者数) 123人 (就職者数) 12人
-----------------	---

改善すべき点	参加者数及び参加企業は昨年度に比べて微増したものの、実際の就職者数は微減した。このため、引き続き参加者の増加に努めるとともに、企業と求職者のマッチングがスムーズに行えるよう、市内企業で働くことの魅力を広くPRする。
--------	---

令和2年度に向けた改善策	今後もより積極的なPRに努める。
--------------	------------------

所属	都市魅力産業スポーツ部 労働雇用政策室	No.	9
----	------------------------	-----	---

事業名	市内企業と学生、女性の就職マッチング事業	令和元年度 目標達成度
事業概要	市内企業の採用状況や雇用ニーズをきめ細かに把握し、新たな雇用ニーズの掘り起こしを図るとともに、学生や子育て世代の女性の就職ニーズとのマッチング事業を行う。	A

H30 決算	28,000千円	R1 決算	28,235千円
-----------	----------	----------	----------

提言・報告 施策	I②			
-------------	----	--	--	--

第5次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	就職をサポートした学生や女性の人数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	100人	125人	125人	A	目標②				
実績①	134人	202人	-		実績②				

事業実績 (令和元年度)	<p>『就活ファクトリー東大阪』での実績 ※以下ファクトリーと記載 【新規登録者数】907人【就職者数】639人(うち市内企業への就職者数202人)【相談件数】548件</p> <p>○その他特記事項 近畿大学との連携・・・①6月3日(月)インターシップ準備セミナーを近畿大学内で開催。 ②11月13日(水)法学部ゼミ生と市内企業の交流会&ワークショップを近畿大学内で開催。 ハローワーク布施との連携・・・旭町子育て支援センター(あさひっこ)等で、ハッピーJOBサークル(3回連続イベント)を託 付付で開催。※3回目はハローワーク布施にて開催。 布施子育て支援センター(ゆめっこ)との連携・・・託児付セミナーを8回開催(託児先は布施子育て支援センター(ゆめ っこ)。子連れOKセミナーを布施子育て支援センター(ゆめっこ)で12回開催。 東大阪高等職業技術専門校との連携・・・CADに関するセミナーをファクトリーセミナールームで2回開催。 ウェブサイトの改修・・・「就職決定者の声」や「東大阪市の優良企業」などのページを追加し、スマートフォンでも閲覧しやす い仕様へ改修。</p>
-----------------	---

改善すべき点	<p>【課題①】新型コロナウイルス感染拡大の影響により、イベント・セミナー及び館内サービス(パソコンコーナーなど)の利用 を中止していた。</p> <p>【課題②】平成29年7月のオープンから就職者数は右肩上がりに増加しているが、メインターゲットである学生などの利用 が少ない。</p>
--------	---

令和2年度に向 けた改善策	<p>【課題①】新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う対応について】 ファクトリーは、経験豊富なスタッフが、利用者の目線に立ち、これまでの経歴や一人ひとりの状況に合わせて、継続的に マンツーマンでサポートする施設である。その特徴を最大限生かすために、7月からは原則来館での就労支援を再開す る。なお、来館にあたっては、国・大阪府から出されている「新しい生活様式」に沿った感染拡大防止対策を講じながら運営 する。 ・キャリアカウンセリング・・・6月まで電話相談を中心に実施。7月からは通常通り来館のみの相談とする。 ・セミナー・・・7月から再開する。 ・パソコンコーナー・・・6月8日(月)から一部利用方法を変更して再開する。 運用マニュアル作成・・・利用者へお届きすることや館内での感染症対策やルールなどを作成し、スタッフ内で共有する。 広報および周知・・・ウェブサイト、SNS(Twitter等)、館内での貼紙、セミナーカレンダーへの感染症対策の文言追加などを 実施。</p> <p>【課題②】メインターゲットである学生などの利用を増やすことについて】 従来の学生向けセミナーとは別に学生向けの支援メニューを考え、「学生向けチラシ」を作成し、周知する。なお、学生の ニーズに沿った支援メニューづくりを行う上で、大学のキャリアセンターや専門学校を直接訪問し、学生の就職活動の現 状・課題を把握することも検討する。</p>
------------------	---

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室	No.	10
----	---------------------	-----	----

事業名	モノづくり立地促進補助事業	令和元年度 目標達成度
事業概要	工業専用地域やモノづくり推進地域(工業地域と多くの準工業地域を指 す)において、新たに製造業を営む場合や工場を建設する場合などに、土 地・建物にかかる都市計画税および固定資産税相当額の一定割合の補 助金を交付することで、製造業の立地と定着を図る。	A

H30 決算	94,577千円	R1 決算	98,840千円
-----------	----------	----------	----------

提言・報告 施策	I③			
-------------	----	--	--	--

第5次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	補助事業活用による新規立地件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	5件	5件	5件	A	目標②				
実績①	5件	8件	-		実績②				

事業実績 (令和元年度)	指定申請企業は8件であった。内訳としては、工場の新設が7件、工場の買収が1件であった。
-----------------	---

改善すべき点	<p>・補助金の更なる周知が必要である。 ・令和元年度より補助対象期間が5年から3年に戻ったため、その影響を見極める必要がある。</p>
--------	--

令和2年度に向 けた改善策	関係部局との連携を密に行い、補助対象となりうる企業の情報取得に努める。
------------------	-------------------------------------

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室	No.	11
----	---------------------	-----	----

事業名	住工共生のまちづくり事業	令和元年度 目標達成度
事業概要	製造業集積の維持・継承に向けた環境づくりを積極的に推進しつつ、良好な住環境を確保することで、活力あふれる経済活動と快適な生活環境が両立したまちを実現していく。	B

H30 決算	103,840千円	R1 決算	109,250千円	提言・報告 施策	I③			
-----------	-----------	----------	-----------	-------------	----	--	--	--

第5次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	1

指標①	補助金施策の活用実績率				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	80%	80%	80%	B	目標②				
実績①	77%	77%	-		実績②				

事業実績 (令和元年度)	住工共生のまちづくり条例第11条に基づき特にモノづくり企業の集積を維持し、促進することが必要であると認める地区をさらに拡大するための検討を実施した。
改善すべき点	住工共生にかかる補助金施策について、活用件数が少ないものがある。
令和2年度に向けた改善策	住工共生のまちづくりの取り組みに関するPRを積極的に行う。

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室	No.	12
----	---------------------	-----	----

事業名	クリエイション・コア常設展示場出展支援事業	令和元年度 目標達成度
事業概要	クリエイション・コア東大阪の1階、2階の展示場に市内企業が製品や技術を展示することに対して出展支援を行う。補助対象者は市内企業のみで、出展開始後2年間、月額出展料の3分の1以内で補助金を交付する。	B

H30 決算	678千円	R1 決算	600千円	提言・報告 施策	I④			
-----------	-------	----------	-------	-------------	----	--	--	--

第5次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	支援企業数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	15社	15社	15社	B	目標②				
実績①	13社	12社	-		実績②				

事業実績 (令和元年度)	昨年度に引き続き9社、新規出展企業3社の計12社。
改善すべき点	毎年、一定数の申請があるため市内企業のニーズはあるが、更なる広報が必要である。
令和2年度に向けた改善策	(公財)東大阪市産業創造労働者支援機構所属のコーディネーター等の協力を仰ぎ、本制度のPRに努める。

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室	No.	13
----	---------------------	-----	----

事業名	国内外販路拡大事業	令和元年度 目標達成度
事業概要	市内製造業者の販路拡大を図るため、国内外における商談や交流の機会を支援する。また、パンフレット冊子およびWEBなどを活用したPR媒体を作成し、海外への情報発信を行う。	B

H30 決算	9,127千円	R1 決算	9,700千円
-----------	---------	----------	---------

提言・報告 施策	I④			
-------------	----	--	--	--

第5次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	商談件数	指標②	有効配布部数						
指標の 説明・計算式		指標の 説明・計算式							
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	100件	100件	50件	D	目標②	1,000部	1,000部	750部	A
実績①	256件	28件	-		実績②	830部	1,150部	-	

事業実績
(令和元年度) 市内のモノづくり企業に対する国内展示会の出展支援を通じて、28件の商談成約があった。平成30年度に作成した冊子をイベントで配布、行政サービスセンターに設置するなどして市民に対しPRを図った。また、英語版冊子を領事館と市内企業とのミートアップ事業の際などに配布し、海外関係者に向けて本市のモノづくりについて情報発信を行った。

改善すべき点 助成金の周知。

令和2年度に向けた改善策 東大阪市産業創造労働者支援機構のコーディネーターやメールマガジン等で助成金の周知を行う。イベント・セミナーや海外関係者との会合の際に積極的にPR冊子を配布する。

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室	No.	14
----	---------------------	-----	----

事業名	技術交流プラザ事業	令和元年度 目標達成度
事業概要	市内製造業者の情報発信・販路開拓を支援するため、製造業検索サイト「東大阪市技術交流プラザ」を運営する。	A

H30 決算	8,891千円	R1 決算	9,002千円
-----------	---------	----------	---------

提言・報告 施策	I④			
-------------	----	--	--	--

第5次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	市内企業への問合せ件数	指標②							
指標の 説明・計算式		指標の 説明・計算式							
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	330件	330件	330件	A	目標②				
実績①	366件	383件	-		実績②				

事業実績
(令和元年度) <プラザ登録の促進>
・(公財)東大阪市産業創造労働者支援機構の企業訪問相談員が企業訪問時に技術交流プラザの案内を行い未登録企業に対し積極的に登録の呼びかけを行う等、新規登録企業の促進を図ったところ30社から新規申し込みがあった。
・申込後、登録に至っていない企業を対象とした操作セミナーを2回を開催した。
<PR>
・第32回東大阪産業展テクノッセ東大阪2019へ出展。
インターネット上に広告を3回投稿。

改善すべき点 プラザ登録の申込があったが登録に至らない企業へのフォロー。

令和2年度に向けた改善策 東大阪市産業創造労働者支援機構コーディネーターと連携し操作セミナーへの出席を促す。

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室	No.	15
----	---------------------	-----	----

事業名	東大阪ブランド推進事業	令和元年度 目標達成度
事業概要	「東大阪ブランド」を本市モノづくり企業のフラッグシップと位置づけ、認定製品の発信を行い、『モノづくりのまち東大阪』の都市イメージ向上を図る。	D

H30 決算	2,727千円	R1 決算	2,552千円
-----------	---------	----------	---------

提言・報告 施策	I④			
-------------	----	--	--	--

第5次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	ブランド新規認定製品数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	25製品	25製品	10製品	D	目標②				
実績①	10製品	2製品	-		実績②				

事業実績 (令和元年度)
令和元年度の東大阪ブランド新規認定数は2件であり、前年度と比較しても、大きく数を下回る結果となった。令和元年9月6日、令和2年1月29日に東大阪ブランド認定審査委員会を開催し、3社6製品の応募があり、うち2社2製品を認定した。また、東大阪ブランドについてモノづくり支援室のウェブ上にて発信を行った。東大阪ブランド推進機構のウェブも刷新し、東大阪ブランド製品を紹介する冊子を作成した。

改善すべき点
東大阪ブランド事業は、優れた市内製造品を東大阪ブランドとして認定することによって販路開拓を支援するものであり、本事業を通じて東大阪市の製造業のさらなる知名度向上を図ることを目的としている。しかし、東大阪ブランド認定制度自体の認知度がまだまだ十分ではなく、ブランド認定製品の申請自体が目標値と比べても低い。

令和2年度に向けた改善策
東大阪ブランド推進機構を通じた広報活動の内容を見直し、より効果的なアプローチに努める。

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室	No.	16
----	---------------------	-----	----

事業名	モノづくりワンストップ推進事業	令和元年度 目標達成度
事業概要	受注拡大サポートや、販路系・技術系コーディネーターによる積極的な企業訪問などにより、企業が抱える課題解決に向けた相談に応じる。	B

H30 決算	22,685千円	R1 決算	21,865千円
-----------	----------	----------	----------

提言・報告 施策	I④	IV①		
-------------	----	-----	--	--

第5次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	企業訪問件数				指標②	マッチング件数			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	1,200件	1,200件	400件	C	目標②	120件	120件	120件	A
実績①	996件	870件	-		実績②	144件	164件	-	

事業実績 (令和元年度)
平成29年度から令和元年度までの3年間については、企業訪問相談員を4名配置し、今までコンタクトを取っていなかった企業を中心に、全事業所に何らかのコンタクトを取り、情報収集、ニーズの掘り起こしを行った。3年間での訪問件数: 3551件(延べ)

改善すべき点
訪問により見えてきた人材不足や事業承継、技術的課題、販路開拓などのニーズに対し、市の施策はもちろん、関係支援機関などと連携するなど、必要に応じて適切なサービスを提供できるよう、日頃からコーディネーター間の情報共有など連携が求められる。

令和2年度に向けた改善策
令和2年度から企業訪問相談員を廃止し、国内及び海外への販路開拓を強化するため、販路開拓コーディネーターを新たに2名配置(計4名)。それぞれの役割を明確に意識し、個々はもちろんチーム(組織)として対応力の向上を図るため、技術・販路開拓コーディネーター間の情報共有による、より効果的、効率的な支援の実現していく。

所属	都市魅力産業スポーツ部 商業課	No.	17
----	-----------------	-----	----

事業名	商業振興コーディネート事業	令和元年度 目標達成度
事業概要	意欲ある事業者を想定しながら、新たな商業振興のあり方を試し地域商業の活性化を図る。	A

H30 決算	2,935千円	R1 決算	3,997千円
-----------	---------	----------	---------

提言・報告 施策	II①	II②	V①	V②
	V③			

第5次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1

指標①	事業効果があったとする対象店舗の割合				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	25%	25%	25%	A	目標②				
実績①	86%	100%	-		実績②				

事業実績 (令和元年度)	ラグビーワールドカップ2019花園開催によって「ラグビー」に関する市民、事業者の関心が高まることを機会として、市内商店街に於けるラグビーにかかわるイベントコンテンツの派遣を実施するとともに、事業年度以降も商店街自身が「ラグビーのまち」を活かした商業振興を行えるようコーディネート支援を行った。 派遣先6団体 派遣した近鉄ライナーズの選手延べ19名(平均3名)
改善すべき点	事業としては、各商店街のイベントに普段関わることのない近鉄ライナーズ選手が訪れることで、いつも以上に盛り上がりを見せ、各商店街の満足度も高いものとなったが、ライナーズの選手とのイベント参加の関係性ができなかった商店街が3割程あった。
令和2年度に向けた改善策	今後も、引き続き「ラグビーのまち東大阪」として、各商店街と近鉄ライナーズの選手がつながるように支援していく。

所属	都市魅力産業スポーツ部 商業課	No.	18
----	-----------------	-----	----

事業名	地域密着型支援事業	令和元年度 目標達成度
事業概要	商店街や小売市場等の小売商業団体が実施する魅力あふれる商店街づくりや、大学・地域などと連携して行う事業など、地域密着型の取り組みに対し補助金を交付することで、商業の活性化を図る。	A

H30 決算	8,865千円	R1 決算	11,583千円
-----------	---------	----------	----------

提言・報告 施策	II①		

第5次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1

指標①	にぎわいづくり事業実施団体数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	21団体	21団体	21団体	A	目標②				
実績①	17団体	22団体	-		実績②				

事業実績 (令和元年度)	市内小売商業団体22団体に対し、イベント等に助成することで市内のにぎわい創出に大いに貢献していただいた。RWC開催年ということもあり、また、例年より補助率を上乗せした結果、新たにイベントを実施される団体も現れ、商業集積地の各地で活気づいた。
改善すべき点	初めてイベントを開催された団体については、手続きや団体内での合意形成に苦慮されるところもあったため、単年度に終わらず次年度においても、開催を続けられるようフォローが必要である。
令和2年度に向けた改善策	令和2年度においても、引き続き各団体でイベントを行い商業のにぎわいを創出していただけるように働きかけていく。

所属	都市魅力産業スポーツ部 商業課	No.	19
----	-----------------	-----	----

事業名	個店経営者育成セミナー事業	令和元年度 目標達成度
事業概要	事業者や開業予定者を対象に、魅力ある個店づくりに必要なコンセプト作りや経営・財務・人材育成・販路開拓等の知識を身につける講座を開講するとともに、専門家(アドバイザー)を店舗に派遣する。	A

H30 決算	626千円	R1 決算	640千円	提言・報告 施策	V②	V③		
-----------	-------	----------	-------	-------------	----	----	--	--

第5次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	アドバイザー派遣により実効があったと回答した割合				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	80%	80%	80%	A	目標②				
実績①	80%	100%	-		実績②				

事業実績 (令和元年度)	令和元年度では、大阪中小企業診断士会と契約することで講師を新たにし、開催時期を9月から7月に変更した。申込期間が前年度より1ヶ月短かったことから申込者数は、前年度比36%の減少となったが、具体的に開業を目指して受講された方が多かったことから、各4回の平均出席率は前年度比8%増加した。また、受講者の中から8月21日に開業を迎えた方や、特定創業支援等事業の証明を受けた方が前年度に比べ3名も増えるなど、過去の実績と比べると結果が出た年となった。これは受講者に対して行ったアンケート結果からも伺えるとおろ、講義に対する満足度が高い上、講師から受講者へのサポート等の結果であるといえる。
改善すべき点	講師を新たにしたこと及び講義内容について見直しを行ったことにより、参加受講生のモチベーションも高く、将来の開店を実際にも考慮されている方も多かった。令和元年度においては、受講生の中から開店される方もいたため、今後については創業者を増やすことが課題である。
令和2年度に向けた改善策	特に新規開業予定者にアドバイザー派遣を受けていただくため、セミナーの中で新規創業者の課題をしっかり掘り起こし、開業前に個々の必要な知識の獲得のためにアドバイザー派遣を受けていただくよう誘導する。

所属	都市魅力産業スポーツ部 商業課	No.	20
----	-----------------	-----	----

事業名	空き店舗活用促進事業	令和元年度 目標達成度
事業概要	商店街の空き店舗を活用して商業・サービス業の開業支援を図るため、開業の際の一部経費の補助やアドバイザーの派遣を行う。	D

H30 決算	650千円	R1 決算	0千円	提言・報告 施策	V③			
-----------	-------	----------	-----	-------------	----	--	--	--

第5次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	空き店舗活用促進事業実施団体数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	4件	4件	4件	D	目標②				
実績①	2件	0件	-		実績②				

事業実績 (令和元年度)	令和元年度においては、本事業にかかる問い合わせが相当数あったが、実際に事前申し込みがあったのは2件であった。また、その2件についても、申請者の都合により辞退された。
改善すべき点	令和元年度から補助対象者のうち、既存の事業者については、金融機関からの融資を受ける要件を緩和し、融資要件の代わりに東大阪商工会議所による経営相談を受けることを要件としたが、相談はあるものの実申請に至らないケースが多かった。相談件数から見ると、一定の周知はできていると考えられるため、補助内容について検討する必要がある。
令和2年度に向けた改善策	相談から実申請につながるよう制度自体の内容を検討していきたい。

所属	都市魅力産業スポーツ部 農政課	No.	21
----	-----------------	-----	----

事業名	都市農業活性化農地活用事業	令和元年度 目標達成度
事業概要	農業団体や農家が行う農業者の振興・育成・活性化を図る事業、また、大阪エコ農産物の栽培を促進する取り組みに対して支援を行う。	A

H30 決算	26,921千円	R1 決算	32,444千円
-----------	----------	----------	----------

提言・報告 施策	Ⅲ①	Ⅲ③	Ⅵ①
-------------	----	----	----

第5次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	大阪エコ農産物栽培面積				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	1,450a	1,450a	1,450a	A	目標②				
実績①	2,750a	2,671a	-		実績②				

事業実績 (令和元年度)	令和元年度の申請及び承認は、58件で助成額は32,444,000円であった。
改善すべき点	特になし
令和2年度に向けた改善策	農業団体や農家が行う農業者の振興・育成・活性化を図る事業、また大阪エコ農産物の栽培を促進する事業などに対して、都市農業活性化及び農地活用事業補助金交付要綱に基づき、補助金を交付し支援しながら推進していきたい。

所属	都市魅力産業スポーツ部 農政課	No.	22
----	-----------------	-----	----

事業名	ファーム花いっぱい咲かそう事業	令和元年度 目標達成度
事業概要	休耕や耕作放棄となっている農地での花の栽培を促すとともに、エコ米生産者への堆肥活用による環境保全型栽培の取り組みを支援することにより、市内の農空間の環境と景観形成を進める。	A

H30 決算	2,028千円	R1 決算	2,325千円
-----------	---------	----------	---------

提言・報告 施策	Ⅲ③	Ⅵ②
-------------	----	----

第5次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	花の栽培面積				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	50,000㎡	50,000㎡	50,000㎡	A	目標②				
実績①	58,866㎡	68,761㎡	-		実績②				

事業実績 (令和元年度)	令和元年度の申請及び承認は、38件68,761㎡で助成額は2,325,000円であった。
改善すべき点	特になし
令和2年度に向けた改善策	都市防災農園の確立に向け、休耕や耕作放棄となっている農地での花の栽培を促すとともに、エコ米生産者への堆肥活用による環境保全型栽培の取り組みを支援することにより、市内の農空間の環境と景観形成を図りながら推進していきたい。

所属 都市魅力産業スポーツ部 農政課

No. 23

事業名	農業啓発推進事業	令和元年度 目標達成度
事業概要	安全・安心な農産物を消費者に提供するために、大阪エコ農産物の生産を促進するとともに、市民・消費者の地元農業と農産物に対する関心を高めることで、地産地消の推進や農業の担い手の育成を支援する。	A

H30 決算	4,150千円	R1 決算	4,150千円
-----------	---------	----------	---------

提言・報告 施策	Ⅲ①	Ⅲ②	Ⅲ④	Ⅲ⑤
	Ⅵ①	Ⅵ②	Ⅵ③	

第5次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
-	-	-

指標①	事業参加者数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H30	R1	R2	R1達成度		H30	R1	R2	R1達成度
目標①	1,000人	1,000人	1,000人	A	目標②				
実績①	1,000人	1,000人	-		実績②				

事業実績 (令和元年度)	東大阪市農業振興啓発協議会に対して助成を行い、同団体が積極的に啓発事業を行っている。
改善すべき点	特になし
令和2年度に向けた改善策	ファームマイレージ運動により、地場農産物に対する、市民、消費者の購買行動につなげ、大阪エコ農産物生産者の増加を目指しつつ、現在の状況を見守りながら推進していきたい。